地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）　資料１－１

事業No.	111101	担当課室	各課室
事業名	市民ふれあい講座の実施		
事業概要	市内の団体等が主催する集会等に市職員が講師として出向き、市政の説明、専門知識を生かした実習等の講座の実施		
R6の取組内容	「防災・減災について」、「消費生活『こんなトラブルにご用心』」、「マイナンバー制度について」、「介護保険と高齢者福祉サービスの概要」等、全６２項目の講座メニューにより実施		
評価内容	評価指標	市民ふれあい講座の実施回数	
	R5	評価	評価理由
	23回	A	毎年講座メニューの更新作業を行っており、令和６年度は全６２項目の講座メニューにより実施した。
	R6		今後の課　題
	25回		今後も同様に市民ふれあい講座を実施する。

事業No.	111102	担当課室	秘書広報室
事業名	人権擁護に関する啓発事業		
事業概要	人権擁護委員と連携し、人権の尊重についての広報・啓発に努める。		
R6の取組内容	令和6年11月30日、12月1日　人権週間と行政相談の合同啓発キャンペーンを開催		
評価内容	評価指標	人権擁護に関する啓発事業の実施の有無	
	R5	評価	評価理由
	有	B	キャンペーン会場において、啓発物の配布と共に、不特定の一般の方に人権擁護や行政相談の周知を図った。
	R6		今後の課　題
	有		今後は他の会場でのキャンペーンなども検討していきたい。

事業No.	111103	担当課室	障害支援室
事業名	精神保健大会の開催		
事業概要	社会福祉関係者が一堂に会し一層の努力を誓うとともに、併せて社会福祉・精神保健の推進に貢献のあった方々を表彰し、感謝の意を表するための大会を開催する。これにより地域福祉の理解を促進する。		
R6の取組内容	令和７年２月７日、第５４回銚子市精神保健大会を開催（第６１回銚子市社会福祉大会と合同開催） 市長感謝状１団体、精神保健対策協議会長感謝状３名。		
評価内容	評価指標	精神保健大会の開催の有無	
	R5	評価	評価理由
	有	A	予定通り大会(表彰式及び講演会）を開催。
	R6		今後の課　題
	有		講演会への一般市民の動員など、大会内容の充実を図る。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業No.	111201	担当課室	秘書広報室
事業名	子ども人権教室の開催		
事業概要	教育委員会と連携をし、市内小・中学校を対象とした子ども人権教室を開催する。		
R6の取組内容	令和6年度は、小学校5校と中学校2校の全7校で、人権教室を開催した。		
評価内容	評価指標	子ども人権教室の開催回数	
	R5	評価	評価理由
	7回	A	DVD教材などを活用して子供にも理解でき、自分ごとと捉えてもらえるような人権教室を開催した。
	R6		今後の課題
	7回		今後も継続して人権教室が開催できるよう、教育委員会や各学校の理解協力を図っていく必要がある。

事業No.	111202（211102）	担当課室	高齢者福祉課
事業名	＜学校における福祉教育の充実＞ 認知症サポーター養成講座の開催（学校や職域など）【重複】		
事業概要	学校で、認知症に関する正しい知識と理解をもち、認知症の人や家族に対してできる範囲で手助けをする「認知症サポーター」を養成する講座を開催する。		
R6の取組内容	地域の小学校、中学校での開催は毎年行ってきているところ３カ所と、大学で２回行った。 また、新規で高校にて１回開催できた。 職域（銀行）では毎年新入職員に対して開催しているものがあり２回行った。		
評価内容	評価指標	認知症サポーター養成講座の開催回数・受講者数	
	R5	評価	評価理由
	8回・222人	A	今年度は毎年実施している小学校や中学校、大学に開催が５回実施できた。新たに、高校へも市から働きかけ講座を開催することができた。
	R6		今後の課題
	9回・197人		受講する生徒が興味を持って楽しく受講できるような工夫。

事業No.	111203	担当課室	高齢者福祉課
事業名	高齢者疑似体験		
事業概要	高齢者疑似体験装具を着用することで、加齢による身体的な変化を知り、高齢者に対する理解を促す。		
R6の取組内容	小学生が認知症高齢者の学習の場で疑似体験を実施した。		
評価内容	評価指標	高齢者疑似体験の実施回数	
	R5	評価	評価理由
	２回	A	疑似体験を通じて、高齢者の身体の変化を知り、高齢者に対する正しい理解を促すことができた。
	R6		今後の課題
	２回		小中学校などを対象とした認知症サポーター養成講座の中で、学校の要望に応じて対応する。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業№	111204	担当課室	指導室
事業名	児童生徒に対する福祉・人権教育の推進		
事業概要	道徳、学級活動、総合的な学習の時間などを活用しながら人権教育を実施し、豊かな人間性の育成を図る。		
R6の取組内容	啓発資料の配付、相談窓口先、研修案内等を各小中学校及び高等学校へ周知した。		
評価内容	評価指標	児童生徒に対する福祉・人権教育の実施の有無	
	R5	評価	
	有	A	評価理由：道徳、学級活動、総合的な学習の時間等を活用し、福祉・人権教育を実施した。
	R6		今後の課題：人権尊重の視点に立った学校づくりを心がけ、「自分の大切さ、他の人の大切さを認めること」を意識し、児童生徒の行動や態度に現れるような指導を行う。
	有		

事業№	112101	担当課室	各課室
事業名	市ホームページや広報紙のほか様々な媒体を使った情報発信		
事業概要	情報発信を通して、地域福祉の理解を促進し、福祉意識を高める。		
R6の取組内容	広報ちょうしは毎月1日発行、市ホームページ、公式LINEでは随時情報発信している。		
評価内容	評価指標	市ホームページや広報紙などによる情報発信の有無	
	R5	評価	
	有	A	評価理由：それぞれの媒体の特性に合わせた情報発信をしている。市ホームページは総合的な情報を掲載し、公式LINEは即時性、緊急性の高い情報をプッシュ型で発信、インスタグラムは、市の魅力発信、観光情報などを発信している。
	R6		今後の課題：発信する情報も内容や件数など、市民が情報を正確、確実に受け取ってもらえるよう随時研究していく。
	有		

事業№	112101	担当課室	秘書広報室
事業名	市ホームページや広報紙のほか様々な媒体を使った情報発信		
事業概要	情報発信を通して、地域福祉の理解を促進し、福祉意識を高める。		
R6の取組内容	広報ちょうしは毎月1日発行、市ホームページ、公式LINEでは随時情報発信している。		
評価内容	評価指標	市ホームページや広報紙などによる情報発信の有無	
	R5	評価	
	有	A	評価理由：それぞれの媒体の特性に合わせた情報発信をしている。市ホームページは総合的な情報を掲載し、公式LINEは即時性、緊急性の高い情報をプッシュ型で発信、インスタグラムは、市の魅力発信、観光情報などを発信している。
	R6		今後の課題：発信する情報も内容や件数など、市民が情報を正確、確実に受け取ってもらえるよう随時研究していく。
	有		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業No.	121101	担当課室	総務室
事業名	町内会連合協議会運営支援		
事業概要	町内会連合協議会に対して事務面での側面支援を行うとともに、運営費補助金を支出する。		
R6の取組内容	定例総会等の各種行事に対する側面支援を行った。日帰り視察研修に対して補助金を支出した。		
評価内容	評価指標	町内会連合協議会運営費補助額	
	R5	評価	
	160,000円	A	評価理由：補助金の交付に加え、事務面からの側面的支援を行った。
	R6		今後の課題：少子高齢化や人口減少に伴う、町内会活動の衰退
	160,000円		

事業No.	121201	担当課室	学校教育室（市民センター）
事業名	社会教育施設や開放学校などの公共施設の利用促進		
事業概要	小中学校及び高等学校の施設をスポーツの場として住民に開放し、社会体育の普及を図る。		
R6の取組内容	小中学校及び高等学校の施設をスポーツの場として住民に開放した。		
評価内容	評価指標	開放学校の利用の有無	
	R5	評価	
	有	A	評価理由：窓や出入り口などの施錠確認、施設利用ルールを周知し、トラブル無く開放することができた。
	R6		今後の課題：引き続き、円滑な制度の運用を図る。
	有		

事業No.	121201	担当課室	（学校教育室）市民センター
事業名	社会教育施設や開放学校などの公共施設の利用促進		
事業概要	児童から青年、成人、高齢者に至るまですべての年齢の人が、学習や研修、スポーツや趣味に興じたり、楽しむ機会を提供されることが出来る生涯学習のための施設としての責務を果たし、施設の利用促進に努める。		
R6の取組内容	文科省からの社会教育法の解釈についての通知に基づき、公民館が営利事業に関わることを全面的に禁止するものではないという趣旨により、幅広く公民館の利用促進に努めた。		
評価内容	評価指標	社会教育施設の利用者数	
	R5	評価	
	59,408人	A	評価理由：利用者数は前年度並みを確保できた。
	R6		今後の課題：利用者が高齢化しており、公民館活動だけでは今後利用者の減少が予想されるが、青少年文化会館が休館中のため、社会教育法の解釈の周知に基づき、民間企業等が有効に公共施設を活用できるよう検討する。
	60,221人		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業№	121301	担当課室	社会福祉室
事業名	福祉まつりの開催支援		
事業概要	銚子市ボランティア連絡協議会が主催する「福祉まつり」の開催を支援する。		
R6の取組内容	市は、福祉まつりを後援。銚子市ボランティア連絡協議会からの要請を受け、社会福祉室職員が「福祉まつり」実行委員会会議に参画した。市福祉関連課が開催日当日のイベントメニューに参加、また、パンフレットの配置による各種制度の周知を行った。		
評価内容	評価指標	福祉まつりに対する支援の有無	
	R5	評価	
	有	A	評価理由：市は行事の後援を続けており、令和５年度からは、新たに福祉まつりの企画段階から市が参画し、当日イベントにも参加
	R6		今後の課題：主催者は、市の共催を希望しているが、現状の民間主導の開催が適当であると思われる。
	有		

事業№	121302	担当課室	子育て支援課
事業名	保育所の高齢者施設の訪問事業		
事業概要	地域における福祉活動の推進を図るため、保育所園児が老人福祉施設などを訪問し、世代間交流を行う。		
R6の取組内容	新型コロナウイルス感染症予防で事業を休止して以降、老人福祉施設などの訪問は再開していないが、地域の団体が行う高齢者のプラチナ体操を保育所内で年長児と一緒に行い、交流を図った。		
評価内容	評価指標	訪問事業の実施施設数	
	R5	評価	
	0件	B	評価理由：地域の団体を保育所へ招いてプラチナ体操を行い、交流を図れたが、老人福祉施設などの訪問は再開できていない。
	R6		今後の課題：老人福祉施設などの訪問の再開を検討していく。
	3件		

事業№	121401	担当課室	障害支援室
事業名	障害者スポーツ大会の開催支援		
事業概要	障害者がスポーツを通じて、体力の維持・増強などを図るとともに、障害者相互の親睦交流を深め、また、一般住民の障害者に対する理解と関心を高揚することを目的としたスポーツ大会を開催する。（銚子市・旭市・匝瑳市合同）		
R6の取組内容	障害者スポーツの実行委員会からの開催案内について周知		
評価内容	評価指標	障害者スポーツ大会に対する支援の有無	
	R5	評価	
	有	C	評価理由：従前から参加している団体に対し、大会実行委員会からの開催案内について周知を行い、参加の意向を確認したが、不参加となったため。（R6年度開催地：匝瑳市）
	R6		今後の課題：大会開催案内の周知範囲の検討。（従前から参加している障害者団体構成員の減少及び高齢化のため。）
	無		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業№	121402	担当課室	高齢者福祉課
事業名	シニアクラブの活動促進		
事業概要	高齢者が自らの能力や経験を生かしながら、多様な社会参加ができるようシニアクラブ活動への支援を行う。		
R6の取組内容	銚子市シニアクラブ連合協議会及び各単位クラブ１７クラブに運営費を補助した。また、グラウンドゴルフ大会・スポーツ大会・演芸大会等各活動に対する支援を行った。		
評価内容	評価指標	シニアクラブに対する支援の有無	
	R5	評価	評価理由
	有	B	銚子市シニアクラブ連合協議会等に運営費を補助。その他各種行事の支援を実施した。
	R6		今後の課　題
	有		市のサポートを最小限にとどめ、役員中心の運営へ移行するよう支援をしていく必要がある。

事業№	121403	担当課室	高齢者福祉課
事業名	家族介護交流会・家族介護教室の開催		
事業概要	家族を介護する方や介護について学習したい方等を対象に、介護に関する知識や技術などを学ぶ交流会・教室を開催する。		
R6の取組内容	介護予防・地域支え合いサポーター養成講座メニューとあわせ、3回1コースで実施した。すべての日程の参加者には修了証を交付（8人）した。介護に関する講義及び技術演習、介護予防と地域での支え合いのしくみについて講義を行った。		
評価内容	評価指標	家族介護交流会の開催回数・参加人数	
	R5	評価	評価理由
	2回/延べ51人	A	現在介護中の方や過去に介護をしていた方、地域の支え合いに興味がある方などの参加があった。講義や助け合い体験ゲーム、介護の経験談などから、地域の支え合いの必要性を参加者間で共有ができた。
	R6		今後の課　題
	3回/延べ35人		参加人数を増やすため、周知方法を検討する。

事業№	121501	担当課室	障害支援室
事業名	手話講習会の開催		
事業概要	ボランティア意識をもった地域住民を対象として、 ①銚子市・旭市・匝瑳市合同の委託事業である「海匝地区手話奉仕員養成講座」を開催する。 ②市社会福祉協議会の事業である「初級手話講習会」の開催を支援する。		
R6の取組内容	海匝地区手話奉仕員養成講座：講座4回・地域講座4回・実技講座19回、受講者6名 初級手話講習会：講座10回、受講者21名		
評価内容	評価指標	手話講習会の開催回数・受講者数	
	R5	評価	評価理由
	27回・12人 10回・19人	B	受講者数が少ない。
	R6		今後の課　題
	27回・6人 10回・21人		受講者のフォローアップや取得した手話を実践できる場の創出。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業№	121502	担当課室	子育て支援課
事業名	育児サークルの支援		
事業概要	育児のための情報交換や知識の普及、子育て親子の友達づくりなど、地域で自主的に活動している子育てサークルに情報提供を行う。		
R6の取組内容	活動の実態が把握できていないため、適切な情報提供が行えていない。		
評価内容	評価指標	育児サークルに対する支援の有無	
	R5	評価	
	無	D	評価理由：活動の実態が把握できていないため、適切な情報提供が行えていない。
	R6		今後の課題：活動の実態が把握できる体制の構築に努め、各サークルが必要とする情報を提供していきたい。
	無		

事業№	121503	担当課室	高齢者福祉課
事業名	介護予防・日常生活支援総合事業		
事業概要	６５歳以上の方を対象に、一人ひとりの状態や必要性に合わせたさまざまなサービスを提供する。介護予防・生活支援サービス、地域で開催する通いの場等の一般介護予防事業を実施。		
R6の取組内容	多様なサービスとしては通所型サービスA（1箇所）及び訪問型サービスA（2か所）のみ。 新たに通所型サービスCを立ち上げるため、情報収集を行った。		
評価内容	評価指標	介護予防・日常生活支援総合事業実施の有無	
	R5	評価	
	有	B	評価理由：新たなサービス創出には至らなかった。
	R6		今後の課題：従前サービス中心から多様なサービスへの移行。
	有		

事業№	121504 （222101）	担当課室	高齢者福祉課
事業名	＜地域住民の自主的な活動と公共的サービスの連携＞ 生活支援コーディネーターの配置【重複】		
事業概要	日常生活圏域ごとに生活支援コーディネーターを配置し、生活支援・介護予防サービスの提供体制のコーディネート機能を充実させる。（日常生活圏域：日常生活を営んでいる地域として、地理的条件、人口、介護サービス提供状況などを勘案して定める区域。生活支援コーディネーター：生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす者。）		
R6の取組内容	市内全域を担当する第1層生活支援コーディネーター（1名）及び各圏域を担当する第2層生活支援コーディネーターを3名配置。（内2名は新規配置） 新規配置した圏域（東部及び中央）については、圏域担当委託型包括と連携し、地区組織との関係の構築に努めた。		
評価内容	評価指標	生活支援コーディネーターの人数	
	R5	評価	
	2人	A	評価理由：全圏域に第2層生活支援コーディネーターの配置ができた。
	R6		今後の課題：全ての圏域で協議体（地域での支え合いについて住民同士で協議する場）の設置を目指す。
	4人		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業№	122101	担当課室	高齢者福祉課
事業名	銚子プラチナ体操等通いの場の支援及び設置の推進		
事業概要	地区の会場などに集まり、住民が主体的に行う「銚子プラチナ体操」など通いの場の支援及び設置を推進する。		
R6の取組内容	民生委員や町内会の総会、市民講座等で、プラチナ体操のチラシを配布し周知啓発を図った。福祉まつりでは、プラチナ体操を実際に参加者と行い、啓発をすることができた。また、包括支援センターの相談対応時等でも個々への周知を図った。 男性の通いの場についても、委託型地域包括支援センター職員と現状共有を行った。		
評価内容	評価指標	銚子プラチナ体操実施団体数	
	R5 52団体 （毎週・隔週）	評価 B	評価理由：年間目標を各圏域2か所計6か所とし、7か所と目標を達成した。
	R6 56団体 （毎週・隔週）		今後の課題：引き続き、新規団体数を目標値（各圏域に新規活動団体数２か所）確保に努める。

事業№	122102 （221102）	担当課室	高齢者福祉課
事業名	＜交流拠点の整備・確保＞ ふれあい交流サロン支援【重複】		
事業概要	「地域の茶の間」として、地域の誰もが通える、身近で気軽な集いの場である「ふれあい交流サロン」の事業費を補助する。		
R6の取組内容	ふれあい交流サロン事業費の補助。サロンでの講座等の支援。		
評価内容	評価指標	ふれあい交流サロンの設置数	
	R5 5か所	評価 B	評価理由：5か所のサロンで合計243回講座等を開催し、延参加者数2,557人。サロン増設による事業充実が必要。
	R6 5か所		今後の課題：サロンの増設の具体的な方法の検討。

事業№	122103	担当課室	高齢者福祉課
事業名	認知症カフェ開設補助事業		
事業概要	認知症の方やその家族、地域住民、介護職員など誰もが集え、気軽に悩み相談や世間話などができるコミュニケーションの場である「認知症カフェ」の開設を支援するため、補助金を交付する。		
R6の取組内容	東部圏域に2か所、中央圏域に１か所、西部圏域に１か所でカフェを開催。認知症本人や地域住民、専門職が参加し、レクレーション等の交流を図っている。カフェそれぞれ自分たちに合った内容を取り入れ、継続した開催を維持している。		
評価内容	評価指標	認知症カフェの設置数	
	R5 4か所	評価 B	評価理由：高齢者に合わせた取り組みが、それぞれのカフェで実施できているため。
	R6 4か所		今後の課題：カフェの活動を活性化していきたい。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業№	122104	担当課室	高齢者福祉課
事業名	老人憩の家等の設置		
事業概要	高齢者の心身の健康の増進及び教養の向上並びに市民の福祉の増進を図るため、老人憩の家等を設置、運営する。		
R6の取組内容	銚子市老人憩の家・地域福祉センター及び銚子市芦崎高齢者いこいセンターを設置。指定管理者制度により、業務管理委託による運営をしている。指定管理者により、主催事業、入浴事業、地域の交流の場の提供等を実施している。		
評価内容	評価指標	老人憩の家の設置	
	R5	評価	評価理由
	2か所	A	高齢者の健全な憩の場の確保と地域住民の交流の場として、円滑に管理運営を行っている。
	R6		今後の課題
	2か所		施設の老朽化。 令和９年度以降の施設の在り方の検討。

事業№	122105	担当課室	保健事業室
事業名	子育て広場の開設		
事業概要	乳幼児とその保護者が自由に集い、交流や情報交換をし、子育て等の悩みが相談できる場を提供する。		
R6の取組内容	平日9～12時、水・木曜日の可能な日の13～16時にも開設。 保育士が常駐し、適宜遊びの提供・相談対応を実施。保育士のみで相談対応が困難な場合は保健師等へつなげている。		
評価内容	評価指標	子育て広場の開催回数・参加人数	
	R5	評価	評価理由
	312回・6,685人	A	計画通り実施できた。
	R6		今後の課題
	331回・6848人		今後の広く周知し、必要としている人が利用できるようにしていく。

事業№	122106	担当課室	都市整備室
事業名	地元保存会による公園管理委託事業		
事業概要	公園内の除草等管理業務を地元保存会へ委託する。		
R6の取組内容	地元公園保存会１７団体へ除草等管理業務を委託した。		
評価内容	評価指標	地元公園保存会による公園管理委託数	
	R5	評価	評価理由
	17団体	A	地元公園保存会１７団体へ除草等管理業務を委託した。
	R6		今後の課題
	17団体		公園保存会の高齢化により、保存会の解散が予想されるため、その他の管理方法も検討する必要がある。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業№	122201	担当課室	障害支援室
事業名	福祉タクシー利用助成事業		
事業概要	障害者等が通院、会合などのために使用するタクシー代を助成することにより、障害者等の移動を支援し、社会参加を促進する。		
R6の取組内容	令和６年度は、６３８人の障害者に対してタクシー券を交付。 （４００円利用券×４枚／月（腎機能障害は１６枚／月））		
評価内容	評価指標	福祉タクシー券交付者数	
	R5	評価	
	657人	B	評価理由：事業を継続して実施した。
	R6		今後の課題：必要に応じて、助成対象者（障害種別等）の拡大及び助成内容の充実（助成金額の増額）などの検討。
	638人		

事業№	122202	担当課室	障害支援室
事業名	福祉車両貸出事業		
事業概要	心身障害者及び高齢者等の社会参加の促進するため、その移動手段としてリフト付ワゴン車(福祉カー)を貸し出す。		
R6の取組内容	リフト付ワゴン車（福祉カー）の貸出しを行った。		
評価内容	評価指標	福祉カー貸出件数	
	R5	評価	
	20件	B	評価理由：利用実績が少ない。
	R6		今後の課題：市HPや広報紙以外による周知方法の検討。 利用しやすい車両への変更。
	14件		

事業№	122203	担当課室	危機管理室
事業名	運転免許証自主返納者支援事業		
事業概要	銚子警察署、公共交通機関と相互協力して高齢者の自動車運転免許証の自主返納を促進し、交通事故の減少を図る。		
R6の取組内容	自動車運転免許の返納の流れや特典について市HPで周知した。		
評価内容	評価指標	運転免許証自主返納者数	
	R5	評価	
	328人	A	評価理由：自動車運転免許の返納の流れや特典について市HPで周知した。
	R6		今後の課題：外出や畑仕事など、地域柄日常的に車の運転が必要であるため、運転免許証の返納が進まない。
	214人		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業№	122204	担当課室	危機管理室
事業名	高齢者安全運転支援装置設置補助事業		
事業概要	市内の高齢者を対象に、交通事故防止のため後付けによる安全運転支援装置の設置に係る費用を補助する。		
R6の取組内容	市内の高齢者を対象に、交通事故防止のため後付けによる安全運転支援装置の設置に係る費用の補助を実施した。		
評価内容	評価指標	高齢者安全運転支援装置設置補助金交付者数	
	R5	評価	
	5件	A	評価理由：市HP、市広報、各事業者に周知した。
	R6		今後の課題：事業は令和７年度で終了の予定
	6件		

事業№	131101	担当課室	総務室
事業名	コミュニティ助成事業費補助金交付事業		
事業概要	コミュニティ活動の促進を図るとともに自治意識の向上を目指すため、自治総合センターのコミュニティ助成金を財源として、コミュニティ団体に補助を行う。		
R6の取組内容	西小川町第二町内会に対して補助を実施した。		
評価内容	評価指標	コミュニティ助成事業費補助金交付団体数	
	R5	評価	
	1団体	A	評価理由：公募により選定したコミュニティ団体（町内会）に対して補助を実施した。
	R6		今後の課題：特になし。
	1団体		

事業№	131102	担当課室	高齢者福祉課
事業名	第２層協議体「西部ふれあい会」の活動支援		
事業概要	地域住民が中心となって支え合いの仕組みを検討する生活支援コーディネーターによる地区協議体「西部ふれあい会」の活動を支援する。		
R6の取組内容	ふれあい会委員主催で地域住民が興味のあるテーマ（認知症や健康増進、防災など）にて講座を7回開催。 いこいセンターでの七夕飾りや書初めの展示を実施。 活動について地域住民に周知するため６中文化祭にて活動の様子を展示。また防災をテーマにスリッパや段ボールトイレの作成を行った。 委員が活動できるよう2層コーディネーターを中心として、高齢者福祉課職員や包括職員が協力し調整を図った。		
評価内容	評価指標	「西部ふれあい会」に対する支援の回数	
	R5	評価	
	52回	A	評価理由：ふれあい会委員が各地域で住民に向けた取り組みについて検討し活動することができた。
	R6		今後の課題：地域課題を抽出し、地域でできる取り組みについて検討が必要。
	61回		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業№	131201	担当課室	総務室
事業名	町内会活動費等交付金交付事業		
事業概要	町内会の活動を活性化するために交付金を交付する。		
R6の取組内容	町内会活動費交付金　6,276,000円（300円×20,920世帯）		
評価内容	評価指標	町内会活動費等交付金額	
	R5	評価	
	6,321千円	A	評価理由：市の計画通りに交付金を交付した。
	R6		今後の課題：少子高齢化や人口減少に伴う、町内会活動の衰退
	6,276千円		

事業№	131301	担当課室	高齢者福祉課
事業名	地域ケア個別会議の開催		
事業概要	市や地域包括支援センターにおいて、支援が必要な高齢者の有効な支援策を検討し、個別課題の解決を図ることを主な目的とする地域ケア個別会議を開催する。		
R6の取組内容	市または地域包括支援センターが開催する会議。個別課題解決の必要があるケースや地域のネットワーク構築のための会議や自立支援・重度化防止に向けて軽度者または生活支援の援助が多いケアプラン等のケースを多職種で検討し、より良い支援やプランに生かした。		
評価内容	評価指標	地域ケア個別ケア会議の開催回数	
	R5	評価	
	24回	B	評価理由：身寄りがない・認知症等の個別課題が山積している人や、本人に合った目標設定ができるための介護予防・自立支援型の会議が実施できた。
	R6		今後の課題：個別ケース開催から地域課題を抽出し、地域づくりの会議へ繋げていく。
	22回		

事業№	131302（312101）	担当課室	高齢者福祉課
事業名	＜地域ニーズの把握＞ 実態把握事業【重複】		
事業概要	７５歳以上の独居高齢者（介護保険サービスを受けていない人）等の自宅を訪問し、要介護状態にならないよう介護予防に視点をおいた支援を行うとともに、委託型地域包括支援センターなどの相談窓口を周知する。実態把握を通し、担当圏域の地域特性や高齢者のニーズ把握をするのも目的の一つである。		
R6の取組内容	訪問対象を８０歳独居高齢者に変更。（７５歳高齢者は比較的元気な方が多く働いている方や不在が多い）。 訪問対象が114人で訪問等で状況把握できたのは78人であった。		
評価内容	評価指標	独居高齢者の訪問による聞き取り件数	
	R5	評価	
	244人	B	評価理由：対象者を変更したことで、独居高齢者訪問対象数及び聞き取り調査数が減少してしまった。地域の特性把握には至らなかった。 不在が多い課題については、対象年齢を引き上げても同じであった。
	R6		今後の課題：訪問対象者に独居高齢者訪問の実施と目的について理解してもらえるような働きかけを行う。
	78人		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業№	132101	担当課室	障害支援室
事業名	精神障害者ピアサポート事業の支援		
事業概要	同じような立場や境遇、経験を共有する仲間同士が支え合う事業。精神障害者のためのピアサポート事業を委託で実施。		
R6の取組内容	精神障害者ピアサポート事業を、「ＮＰＯ法人精神保健福祉を支える会ＮＥＷ」に委託して実施。		
評価内容	評価指標	ピアサポート事業実施団体に対する支援の有無	
	R5	評価	
	89人	B	評価理由：ピアサポート事業実施団体に対する委託事業として継続的に実施。
	R6		今後の課題：確立された養成プログラムやガイドラインが存在しないため、専門性を担保することが難しい。海匝圏域内で連携を進めていく。
	92人		

事業№	132102	担当課室	子育て支援課
事業名	ファミリー・サポート・センター会員同士の相互援助活動の支援		
事業概要	地域における育児の相互援助活動を推進するとともに、緊急時の預かり、ひとり親家庭等の支援など多様なニーズに対応する「ファミリー・サポート・センター」の会員の相互援助活動を支援する。		
R6の取組内容	ファミリー・サポート・センター事業を市社会福祉協議会に委託し実施。		
評価内容	評価指標	ファミリー・サポート・センターに対する支援の有無・登録会員数	
	R5	評価	
	支援有・118人	B	評価理由：市社会福祉協議会に事業運営委託で実施。市においても会員募集活動などを支援した。
	R6		今後の課題：新規入会者が減少傾向にあるため、大型商業施設での出張入会説明会の実施等といった活動の幅を広げる。
	支援有・126人		

事業№	132201 (412301)	担当課室	社会福祉室
事業名	＜ボランティア連絡協議会の機能強化＞ 社会福祉協議会運営費補助【重複】		
事業概要	ボランティア連絡協議会と連携を図る社会福祉協議会に対して運営費補助金を支出することにより、ボランティア連絡協議会を間接的に支援する。		
R6の取組内容	市は、Ｒ６年度は16,646千円の補助金を交付し、社会福祉協議会の運営を支援 社会福祉協議会は、ボランティア連絡協議会への助成金支出や福祉まつりの共催など連携を図った。		
評価内容	評価指標	社会福祉協議会運営費補助金額	
	R5	評価	
	15,952千円	B	評価理由：社会福祉協議会への補助金支出により、間接的にボランティア連絡協議会の運営を支援。また、ボランティア連絡協議会が主催する福祉まつりの開催にあたり、市担当課は企画段階から参画し、連携を図った。
	R6		今後の課題：社会福祉協議会とも連携した効果的な支援策の検討
	16,646千円		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業№	211101	担当課室	障害支援室
事業名	地域生活支援促進事業（障害支援ボランティアの育成）		
事業概要	障害者等に対する地域のボランティア（支援者）の養成や活動を支援する。		
R6の取組内容	障害者支援の地域ボランティア育成の実施計画を作成し、地域との連携を模索した。		
評価内容	評価指標	障害支援ボランティアの人数	
	R5	評価	評価理由
	8人	B	令和５年度からは、ボランティアの総数は増加しているが、地域のボランティア育成が進んでいない。
	R6		今後の課題
	12人		地域のボランティアが少なく、学生ボランティアが主となっている。今後は、地域のボランティア育成が必要。

事業№	（111202）211102	担当課室	高齢者福祉課
事業名	＜実践を意識した福祉講座の充実を図る＞ 認知症サポーター養成講座の開催（学校や職域など）【重複】		
事業概要	地域や職域で、認知症に関する正しい知識と理解をもち、認知症の人や家族に対してできる範囲で手助けをする「認知症サポーター」を養成する講座を開催する。		
R6の取組内容	地域の小学校、中学校での開催は毎年行ってきているところ３カ所と、大学で２回行った。 また、新規で高校にて１回開催できた。 職域（銀行）では毎年新入職員に対して開催しているものがあり２回行った。		
評価内容	評価指標	認知症サポーター養成講座の開催回数・受講者数	
	R5	評価	評価理由
	8回・222人	A	今年度は毎年実施している小学校や中学校、大学に開催が５回実施できた。新たに、高校へも市から働きかけ講座を開催することができた。
	R6		今後の課題
	9回・197人		受講する生徒が興味を持って楽しく受講できるような工夫。

事業№	211103	担当課室	高齢者福祉課
事業名	介護予防・地域支え合いサポーター養成講座		
事業概要	住み慣れた場所で安心して豊かに暮らせる地域づくりを目指し、受講生自身の介護予防と地域での支え合いの仕組みについて学ぶ「介護予防・地域支え合いサポーター養成講座」を開催する。		
R6の取組内容	事業№121403の事業に含む		
評価内容	評価指標	介護予防・地域支え合いサポーター養成講座の開催回数	
	R5	評価	評価理由
	１回	A	現在介護中の方や過去に介護をしていた方、地域の支え合いに興味がある方などの参加があった。講義や助け合い体験ゲーム、介護の経験談などから、地域の支え合いの必要性を参加者間で共有ができた。
	R6		今後の課題
	3回/1コース		参加人数を増やすため、周知方法を検討する。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業№	211104	担当課室	保健事業室
事業名	自殺対策強化事業（ゲートキーパーの育成）		
事業概要	地域住民が身近な人の心理的危機を早期に発見し、地域の自殺対策強化を図るための人材（ゲートキーパー）を育成する。		
R6の取組内容	R7.1.24　「ゲートキーパー養成講座　～悩んでいる人への接し方～」 講師：木戸秋　明男　臨床心理士 対象者：食生活健康推進員（任期替えに伴いこころの健康づくりと、身近な人を見守ることの大切さを目的として実施）		
評価内容	評価指標	ゲートキーパーの人数	
	R5	評価	
	18人	A	評価理由：計画通り実施できた。
	R6		今後の課題：対象とする者の見直しをし、地域全体で予防啓発となるように広く周知していく
	58人		

事業№	212101 （421302）	担当課室	危機管理室
事業名	＜リーダー研修の実施＞ 防災士の育成支援（防災ワークショップの開催）【重複】		
事業概要	防災士の資質向上を図るためのフォローアップの取組として、防災講座や防災ワークショップなどを開催する。		
R6の取組内容	・令和６年５月１９日（日）銚子防災士会設立総会記念講演「令和６年能登半島地震から銚子市の地震・津波防災を考える～銚子防災士会に期待する「協働」の取り組み～」 ・令和６年１１月９日（土）千葉県防災研修センター主催　防災セミナー「シニア世代のための防災活動セミナー」 上記2つを令和６年度の防災士フォローアップ講座として実施した。		
評価内容	評価指標	防災ワークショップの開催回数・参加人数	
	R5	評価	
	1回・22人	A	評価理由：高齢者世帯の防災対策や能登半島地震の被災地の状況などから銚子市の防災を考えた講義を受講することで防災士の資質向上を図ることができた。
	R6		今後の課題：参加者が毎回同じ方が多いので、開催日時や周知方法を工夫し、多くの防災士に参加していただくようにする必要がある。
	2回・35人		

事業№	212102	担当課室	高齢者福祉課
事業名	認知症地域支援推進員の配置と活動の推進		
事業概要	認知症施策の推進役、地域における認知症の人の医療・介護等の支援ネットワーク構築の要役となる「認知症地域支援推進員」を配置するとともに活動の推進を図る。		
R6の取組内容	基幹型及び委託型地域支援センターに認知症地域支援推進員を配置。認知症地域支援推進員が中心となり、認知症施策を考える会を主催し、認知症施策の推進に向けた取組みを行った。（認知症サポーター養成講座の開催、アルツハイマー月間での認知症に関する啓発活動を実施）		
評価内容	評価指標	認知症地域支援推進員の人数	
	R5	評価	
	13人	A	評価理由：認知症地域支援推進員の必要人数は確保できている。
	R6		今後の課題：認知症施策推進の要となるため、全ての地域包括支援センターに配置する。
	13人		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業№	212103	担当課室	高齢者福祉課
事業名	介護予防・地域支え合いサポーターを対象としたフォローアップ講座		
事業概要	隣近所で「さりげない気配り」「ちょっとした目配り」をする地域づくりの応援者である「介護予防・地域支え合いサポーター」を対象としたフォローアップ講座を開催する。		
R6の取組内容	年1回開催。サポーターが、介護予防に関する取り組みとしてについてグループワークで検討し、活動内容を決定した。福祉まつりや一体的事業の立ち寄り型の場所に出向き、実践することができた。		
評価内容	評価指標	フォローアップ講座の開催回数・参加人数	
	R5	評価	評価理由
	1回・21人	B	介護予防に関する活動内容をサポーターが決定し、実践することができた。
	R6		今後の課題
	1回・21人		今後は、地域の困り事に対しサポーターを繋げる体制づくり。

事業№	221101	担当課室	高齢者福祉課
事業名	チームオレンジ結成に向けた準備		
事業概要	認知症サポーターがチームを編成し、認知症の人や家族に対する生活支援を行うボランティア組織の結成に向けた準備、検討を行う。		
R6の取組内容	認知症考える会を2回開催。地域包括支援センター職員やオレンジカフェ運営者・認知症地域支援推進員・千葉県認知症コーディネーターと結成に向けて協議。県主催のチームオレンジコーディネーター研修に参加し、他市町村の取り組みを把握。		
評価内容	評価指標	チームオレンジ結成に向けた取組の有無	
	R5	評価	評価理由
	有	B	チームオレンジの立ち上げ方や活動内容の協議ができた。
	R6		今後の課題
	有		チームオレンジのメンバー選定や活動の具体化が必要。

事業№	（122102） 221102	担当課室	高齢者福祉課
事業名	＜高齢者等の社会参加＞ ふれあい交流サロン支援【重複】		
事業概要	「地域の茶の間」として、地域の誰もが通える、身近で気軽な集いの場である「ふれあい交流サロン」を支援し、高齢者の居場所を確保するとともに、社会参加を促進する。		
R6の取組内容	「地域の茶の間」として、地域の誰もが通える、身近で気軽な集いの場である「ふれあい交流サロン」の事業費を補助する。		
評価内容	評価指標	ふれあい交流サロンの設置数	
	R5	評価	評価理由
	5か所	B	5か所のサロンで合計243回講座等を開催し、延参加者数2,557人。サロン増設による事業充実が必要。
	R6		今後の課題
	5か所		サロンの増設の具体的な方法の検討。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業№	221103	担当課室	高齢者福祉課
事業名	シルバー人材センターの運営事業費補助		
事業概要	高齢者の能力や経験を活かした就業機会の増大を図るとともに、多様な社会参加ができるようシルバー人材センターの活動支援を行う。		
R6の取組内容	銚子市シルバー人材センターに対する運営事業費補助金を交付した。		
評価内容	評価指標	シルバー人材センター運営事業費補助の有無	
	R5	評価	
	有	A	評価理由：運営事業費補助金を交付した。
	R6		今後の課題：シルバー人材センターの会員及び受託業務が減少している。
	有		

事業№	221201 （512101）	担当課室	高齢者福祉課
事業名	＜各種講座の充実＞ めざせ！元気シニア講座の開催【重複】		
事業概要	地域の誰もが参加でき、介護予防に取り組む通いの場となる「めざせ！元気シニア講座」を開催する。		
R6の取組内容	プラチナ体操の立ち上げを検討している団体に対し、地域の現状や一般介護予防の必要性を講義し、プラチナ体操の体験を行った。		
評価内容	評価指標	めざせ！元気シニア講座の開催回数・参加人数	
	R5	評価	
	2回・32人	B	評価理由：講座を6か所で実施し、新規に5か所のプラチナ体操団体が立ち上がった。
	R6		今後の課題：プラチナ体操新規団体発足の為、立ち上げ未地区などに対し積極的に開催していく。
	6回・47人		

事業№	（121504） 222101	担当課室	高齢者福祉課
事業名	＜ボランティアコーディネート機能の充実を図る＞ 生活支援コーディネーターの配置【重複】		
事業概要	日常生活圏域ごとに生活支援コーディネーターを配置し、生活支援・介護予防サービスの提供体制のコーディネート機能を充実させる。（日常生活圏域：日常生活を営んでいる地域として、地理的条件、人口、介護サービス提供状況などを勘案して定める区域。生活支援コーディネーター：生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす者。）		
R6の取組内容	市内全域を担当する第1層生活支援コーディネーター（1名）及び各圏域を担当する第2層生活支援コーディネーターを3名配置。（内2名は新規配置） 新規配置した圏域（東部及び中央）については、圏域担当委託型包括と連携し、地区組織との関係の構築に努めた。		
評価内容	評価指標	生活支援コーディネーターの人数	
	R5	評価	
	2人	A	評価理由：全圏域に第2層生活支援コーディネーターの配置ができた。
	R6		今後の課題：全ての圏域で協議体（地域での支え合いについて住民同士で協議する場）の設置を目指す。
	4人		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業№	222201	担当課室	総務室
事業名	ちばボランティアナビ、ボランティア・NPOに関する出前講座（県主催）の周知		
事業概要	県主催のボランティア等関連出前講座やセミナー等を周知する。		
R6の取組内容	引き続き市ホームページにおける周知に努めた。		
評価内容	評価指標	県主催のNPOに関する出前講座等の周知の有無	
	R5	評価	
	有	B	評価理由：市ホームページによる周知を図った。
	R6		今後の課題：より効果的な周知方法等について検討する必要がある。
	有		

事業№	222301（421201）	担当課室	危機管理室
事業名	＜ボランティア・NPOの活動支援＞ 自主防犯組織支援事業【重複】		
事業概要	市内の自主防犯組織のボランティア保険の加入に係る費用を補助し、自主防犯組織の活動を支援する。		
R6の取組内容	市内の自主防犯組織のボランティア保険の加入を補助し、自主防犯組織の活動を支援した。		
評価内容	評価指標	自主防犯組織の団体数・支援の有無	
	R5	評価	
	10団体・支援有	A	評価理由：市内の自主防犯組織のボランティア保険の加入を補助した。
	R6		今後の課題：構成員の高齢化等による団体数の減少
	10団体・支援有		

事業№	222302（421202）	担当課室	危機管理室
事業名	＜ボランティア・NPOの活動支援＞ 防犯指導員連絡協議会事業費補助【重複】		
事業概要	銚子市防犯指導員連絡協議会の活動事業費を補助し、地域の防犯体制の強化を図る。		
R6の取組内容	銚子市防犯指導員連絡協議会の活動事業費を補助した。		
評価内容	評価指標	防犯指導員連絡協議会事業費補助額	
	R5	評価	
	200千円	A	評価理由：銚子市防犯指導員連絡協議会の活動事業費を補助した。
	R6		今後の課題：防犯指導員の高齢化、後継者の不足
	200千円		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

<table>
<tr><td>事業№</td><td>222303</td><td>担当課室</td><td colspan="2">高齢者福祉課</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">ボランティア・NPOとの連携と活動支援</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">住民が主体となり、多様なメンバーが集まり、地域で取り組む活動などを話し合う「地域支え合い推進会議」を開催する。また、ボランティア連絡協議会やNPO法人と連携し、地域における支え合い活動を推進する。</td></tr>
<tr><td>R6の
取組内容</td><td colspan="4">健康づくり・地域支え合い推進専門部会（介護予防・地域支え合いを統合）を２回開催。地域における支え合い活動推進に向け協議をした。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">評価内容</td><td>評価指標</td><td colspan="3">ボランティア・NPOとの連携及び活動支援の有無</td></tr>
<tr><td>R5</td><td>評価</td><td rowspan="2">評価理由</td><td rowspan="2">会議において、地域におけるお互い様の支え合いのために養成するサポーターの講座やフォローアップ講座、実際の活動に向けた話し合いができた。</td></tr>
<tr><td>有</td><td rowspan="3">A</td></tr>
<tr><td>R6</td><td rowspan="2">今後の
課　題</td><td rowspan="2">支え合いだけでなく、介護予防と一体的に継続して実施していく。</td></tr>
<tr><td>有</td></tr>
</table>

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業№	311101	担当課室	秘書広報室
事業名	人権相談の実施		
事業概要	人権擁護委員１１名で年１２回(月1回)の人権特設相談を設置。		
R6の取組内容	毎月、第3水曜日に人権・行政合同相談を実施している。		
評価内容	評価指標	人権相談件数	
	R5	評価	評価理由
	2件	A	少ない相談件数だが、人権擁護委員により丁寧な相談対応を実施している。
	R6		今後の課題
	2件		研修などを通じて人権擁護委員のスキルアップを図っていく。

事業№	311102（423101）	担当課室	社会福祉室
事業名	＜相談窓口の整備＞ 生活困窮者自立支援事業「ちょうしサポートセンター」の運営委託【重複】		
事業概要	生活困窮、長期失業、家族のひきこもり、就労経験不足など心、家庭、健康上などの問題に対し、相談、課題評価・分析、支援計画作成、自立支援を行う窓口の整備。		
R6の取組内容	生活困窮者自立支援業務をNPO法人socialmateに委託し、「ちょうしサポートセンター」を運営		
評価内容	評価指標	生活困窮者自立支援相談件数	
	R5	評価	評価理由
	120件	B	継続的に新規相談を受け付けており、支援が必要な方へのサポートは一定程度できている。一方で、生活困窮から抜け出せず、生活保護に至る方も少なくはなく、取組のますますの推進が必要
	R6		今後の課題
	128件		生活困窮者自立支援制度として、現在実施している「自立相談支援事業」に加え、任意事業で未実施である「就労準備支援事業」、「家計改善支援事業」の一体的実施を目指す。

事業№	311103	担当課室	社会福祉室
事業名	民生委員・児童委員の活動支援		
事業概要	地域住民の身近な相談者である民生委員・児童委員がスムーズに活動できるよう環境整備など支援を行う。		
R6の取組内容	市費により委員の活動費を支給。民生委員児童委員協議会に対しては、県補助金を財源として運営費補助金を交付した。また、必要に応じて担当課職員が協議会理事会などの会議に参加した。		
評価内容	評価指標	民生委員・児童委員に対する支援の有無	
	R5	評価	評価理由
	有	B	活動支援のための活動費や補助金の支出、各種会議等への参加を継続して実施した。
	R6		今後の課題
	有		今年度11月、3年に一度の民生委員・児童委員の一斉改選を迎える。委員のなり手不足や高齢化が問題化しており、委員の交代に際し、後任の選出が難航するおそれがある。協議会任せにすることなく、市においても人材発掘に努める。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業№	311104	担当課室	障害支援室
事業名	基幹相談支援センターの運営		
事業概要	地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、身体障害者、知的障害者及び精神障害者などの相談支援に関する業務を総合的、専門的に行うほか、権利擁護や虐待防止のために必要な援助を行う「銚子市障害者基幹相談支援センター」を運営する。		
R6の取組内容	身体障害者、知的障害者及び精神障害者などの相談支援に関する業務を実施。		
評価内容	評価指標	基幹相談支援センターにおける相談件数	
	R5	評価	評価理由
	5,511件	B	相談支援業務を実施しているが、年々相談の件数だけでなく内容も複雑多様化しており、センター職員の人員配置の充実が求められる。
	R6		今後の課題
	4,122件		人員配置の充実・強化。

事業№	311105	担当課室	障害支援室
事業名	地域活動支援センターの運営委託		
事業概要	障害者が自宅から通い、地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、創作的活動や生産活動の機会を提供する「地域活動支援センター」を運営する。		
R6の取組内容	地域活動支援センターⅠ型をNPO法人精神保健福祉を支える会NEWに、地域活動支援センターⅡ型をNPO法人スマイル銚子に運営委託。		
評価内容	評価指標	地域活動支援センターの委託か所数	
	R5	評価	評価理由
	2か所	A	令和５年度に新たに開設したⅡ型を含め、６年度も２か所体制を継続。
	R6		今後の課題
	2か所		受託事業者の安定的な事業運営の継続。

事業№	311106	担当課室	障害支援室
事業名	まるっとシステム（地域生活支援拠点等事業）		
事業概要	障害者の高齢化・重度化や、「親亡き後」を見据えて、住み慣れた地域で安心して生活を続けるための仕組み。 （緊急事態対応の相談、対応（一時的な受け入れの調整・支援の手配）、体験の機会（グループホームなどの体験利用）、専門的人材の確保・養成）		
R6内容	まるっとシステム（地域生活支援拠点等事業）をＮＰＯ法人あおぞらに委託して実施。		
評価内容	評価指標	まるっとシステムの利用登録者数	
	R5	評価	評価理由
	24人	A	事業を継続して実施した。委託事業所と定期的に連絡会を実施し、課題の検討を進めた。
	R6		今後の課題
	34人		事業を周知し、利用登録者の増加を目指す。 登録者の把握と、必要な支援調整を進める。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業№	311107	担当課室	子育て支援課
事業名	私立地域子育て支援センター運営費補助		
事業概要	子育て相談等に対応するため、地域子育て支援センターの運営費に対し、補助金を交付し支援をする。		
R6の取組内容	私立保育園の実施する地域子育て支援センター４か所に対し、補助金の交付を行った。		
評価内容	評価指標	私立地域子育て支援センターの設置数	
	R5	評価	評価理由
	4か所	A	子育て中の親子に遊び場の提供と育児相談等の支援を実施する地域子育て支援センター４か所に対し、補助金の交付を行った。
	R6		今後の課題
	4か所		引き続き、円滑な制度の運用を図る。

事業№	311108	担当課室	高齢者福祉課
事業名	基幹型・委託型地域包括支援センターの設置、運営		
事業概要	包括的・継続的な支援を行う地域包括ケアを実現するための中心的役割を担う機関である「地域包括支援センター」を設置し、運営する。		
R6の取組内容	4月基幹型地域包括支援センター事業を提示の上、委託型地域包括支援センターごとに事業計画を作成、提出。 10月計画進捗確認を基幹型及び委託型で実施。 2月委託型地域包括支援センターの業務評価と業務点検を実施。 2月地域包括支援センター運営協議会(書面開催）で業務評価の結果報告を実施し、委員より書面にて意見を頂いた。		
評価内容	評価指標	基幹型・委託型地域包括支援センターの設置数	
	R5	評価	評価理由
	4か所	A	地域包括支援センター業務の質の向上、公正中立性が確保できるよう、業務チェックシートを活用し、自己評価と行政評価を合わせ業務点検を実施した。新たに、活動回数や事業実施量を新たに追加し、評価を実施。
	R6		今後の課題
	4か所		業務点検を通じ、委託型地域包括支援センター業務が一部に偏ることなく、バランスよく機能し、効果的、効率的な運営となるよう努める。

事業№	311109	担当課室	高齢者福祉課
事業名	在宅医療・介護連携支援センターの設置、運営		
事業概要	地域の在宅医療・介護連携についての相談窓口を担う「在宅医療・介護連携支援センター」を設置し、運営する。		
R6の取組内容	医療介護推進事業の実施（医療介護連携シートの活用、SNSを活用した連携の検討、医療介護連携ハンドブックの改訂について検討、医療と介護をつなぐ研修会の開催（R6は延期）、介護支援専門員等からの相談対応）		
評価内容	評価指標	在宅医療・介護連携支援センターの設置数	
	R4	評価	評価理由
	1か所	B	関係機関と連携を図りながら実施することができた。
	R5		今後の課題
	1か所		情報の収集、既存資料の改訂、連携方法の検討など、介護支援専門員等の日々の活動に活かせるようにしていく必要あり。またセンターへの相談時に対応できるようにしていく。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業№	311110	担当課室	保健事業室

事業名	子育て世代包括支援センター「すくサポ」・子ども家庭総合支援拠点における相談事業
事業概要	妊娠期から子育て期にわたるまでの様々な相談や切れ目のない支援を行う、子育て世代包括支援センター「すくサポ」と、18 歳未満のすべての子どもとその家庭及び妊産婦等からの様々な心配事についての相談・支援に応じる「子ども家庭総合支援拠点」を運営する。
R6の取組内容	各種母子保健事業による対応、子育てコンシェルジュによる個別相談支援や保育所との連携。 特定妊婦や養育困難・虐待に対する個別対応。 その他、支援が必要なケースに対する対応。

評価内容				
	評価指標	「すくサポ」相談件数・「子ども家庭総合支援拠点」相談件数		
	R5	評価	評価理由	随時相談対応をしていくことができた。
	529件・1,136件	A		
	R6		今後の課題	子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の機能を維持し一体的な相談支援を行う「こども家庭センター」を令和7年度に設置。改めて相談対応の充実に努める。
	433件・1,032件			

事業№	31111	担当課室	保健事業室

事業名	各種相談事業（健康づくり相談、こころの健康相談、乳幼児健康相談）
事業概要	各種相談事業（健康づくり相談、こころの健康相談、乳幼児健康相談）を実施する。
R6の取組内容	・健康づくり相談：毎月1回午前中実施。個々の健康問題や疑問に沿った個別性の高い健康相談を実施した。 ・こころの健康相談：毎月第2火曜日午後に臨床心理士による相談を実施。多職種と連携し支援を実施した。 ・乳幼児健康相談：毎月第3木曜日午後実施。乳幼児健康診査後のフォローや、保護者の育児上の問題解決を行った。

評価内容				
	評価指標	健康づくり相談件数・こころの健康相談件数・乳幼児健康相談件数		
	R5	評価	評価理由	健康づくり相談：対象者のニーズに応じた健康相談を実施できた。 こころの健康相談：多職種連携しながら対象者を手厚く支援できた。 乳幼児健康相談：乳幼児健康診査後のフォローや、保護者の育児相談の場として機能できた。
	21件・11件・87件	A		
	R6		今後の課題	健康づくり相談：利用者の獲得を行う。希望する方が利用できるよう周知を徹底する。 こころの健康相談：件数が減少してきているため、相談の周知を行い必要としている方が利用できるように支援する。 乳幼児健康相談：新規利用者確保のため、引き続き広報等にて周知を行う。
	19件・12件・128件			

事業№	311112	担当課室	産業振興室

事業名	地域サポートステーション（サポステ）による相談会の開催
事業概要	就労支援相談員による出張相談
R6の取組内容	NPO法人が定期的に行う「地域若者サポートステーション事業」による相談会の開催を支援した。

評価内容				
	評価指標	地域サポートステーション（サポステ）による相談会の開催回数		
	R5	評価	評価理由	年始休みを除き、毎月2回の定期開催を行った。
	23回	A		
	R6		今後の課題	引き続き、適正な支援を実施する。
	23回			

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業№	311113	担当課室	産業振興室
事業名	中小企業相談所（銚子商工会議所）の運営支援		
事業概要	中小企業に対して経営改善等を支援する「中小企業相談所」（銚子商工会議所）の活動を支援することで、市内商工業の振興及び地域の総合的な発展を図る。		
R6の取組内容	中小企業相談所事業費補助金を交付し、市内中小企業の経営改善に係る取組を支援する。		
評価内容	評価指標	中小企業相談所に対する支援の有無	
	R5	A	評価理由：銚子市中小企業相談所事業費補助金 令和6年度交付額3,600,000円
	有		
	R6		今後の課題：引き続き、適正な支援を実施する。
	有		

事業№	311114（422201）	担当課室	消費生活センター
事業名	＜相談窓口の整備＞ 消費生活センターの運営【重複】		
事業概要	消費生活相談員による消費生活相談		
R6の取組内容	相談業務及び苦情等への適切かつ迅速な対応と処理		
評価内容	評価指標	消費生活センター相談件数	
	R5	評価	評価理由：適正かつ迅速な対応と処理の遂行。
	576件	A	
	R6		今後の課題：引き続き、適正かつ迅速な対応と処理を実行する。
	573件		

事業№	311201	担当課室	社会福祉室
事業名	複合的な課題に対応できる相談支援体制の検討整備		
事業概要	相談支援において、各分野に固定することなく、「福祉」という包括的な枠組みで捉え、総合的な情報提供や相談体制を構築する。		
R6の取組内容	地域福祉推進幹事会を３回開催 （主な議題：地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況について、引きこもり者の支援について） 参加関係課：社会福祉協議会・総務室（第１回、第３回）・危機管理室・社会福祉課・子育て支援課・高齢者福祉課・健康づくり課・産業振興室（第２回、第３回）・学校教育室（第３回）		
評価内容	評価指標	複合的な課題に対応できる相談支援体制の検討の有無	
	R5	評価	評価理由：会議を重ねる中で「複合的相談支援体制」の構築等、課題の共有は進んでいるものの、具体的な議論や検討にはまだ至っていない。
	無	C	
	R6		今後の課題：地域福祉推進幹事会での議論や検討を継続し、行政だけではなく、市民や関係機関を巻き込みながら複合的相談支援体制の検討・構築する必要がある。
	無		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業No.	（131302） 312101	担当課室	高齢者福祉課
事業名	＜訪問型の支援活動の推進＞ 実態把握事業【重複】		
事業概要	７５歳以上の独居高齢者（介護保険サービスを受けていない人）等の自宅を訪問し、要介護状態にならないよう介護予防を視点においた支援を行うとともに、委託型地域包括支援センターなどの相談窓口を周知する。実態把握を通し、担当圏域の地域特性や高齢者のニーズ把握をするのも目的の一つである。		
R6の取組内容	訪問対象を８０歳独居高齢者に変更。（７５歳高齢者は比較的元気な方が多く働いている方や不在が多い）。 訪問対象が114人で訪問等で状況把握できたのは78人であった。		

評価内容	評価指標	独居高齢者世帯への訪問件数		
	R5	評価	評価理由	対象者を変更したことで、独居高齢者訪問対象数及び聞き取り調査数が減少してしまった。地域の特性把握には至らなかった。 不在が多い課題については、対象年齢を引き上げても同じであった。
	244人	B		
	R6		今後の課題	訪問対象者に独居高齢者訪問の実施と目的について理解してもらえるような働きかけを行う。
	78人			

事業No.	312201 （412101）	担当課室	社会福祉室
事業名	＜制度のはざまの課題への対応＞ 地域福祉推進幹事会の取組強化【重複】		
事業概要	社会福祉、子育て、高齢者、健康、保健、医療、教育、防災、環境、市民活動など各分野をまたぐ問題や、そのはざまにある問題について、庁内関係課で組織する「地域福祉推進幹事会」で検討、解決すべく取り組む。		
R6の取組内容	地域福祉推進幹事会を３回開催 （主な議題：地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況について、引きこもり者の支援について） 参加関係課：社会福祉協議会・総務室（第１回、第３回）・危機管理室・社会福祉課・子育て支援課・高齢者福祉課・健康づくり課・産業振興室（第２回、第３回）・学校教育室（第３回）		

評価内容	評価指標	地域福祉推進幹事会の開催回数		
	R5	評価	評価理由	会議を重ねる中で、課題のテーマは明確になりつつあるものの、具体的な手段や方法までの議論には至っていない。
	１回	C		
	R6		今後の課題	会議での議論を継続しながら、関係各課室との連携を密にし、「制度のはざま問題」を抽出し、具体的な解決策の検討・実施に向け取り組む。
	３回			

事業No.	321101	担当課室	社会福祉室
事業名	地域福祉推進協議会の設置検討		
事業概要	地域福祉の推進を目的の一つとした「地域福祉推進協議会」の設置を検討する。		
R6の取組内容	R5.3　銚子市附属機関の設置等に関する条例に「銚子市地域福祉推進協議会」を規定 R6.7.31　第1回「銚子市地域福祉推進協議会」を開催 R7.1.27　第2回　　〃		

評価内容	評価指標	地域福祉推進協議会の設置の有無（開催回数）		
	R5	評価	評価理由	「銚子市地域福祉推進協議会」設置し、地域福祉の推進に向けた会議を継続的に実施している。
	設置 （２回）	A		
	R6		今後の課題	協議会会議における地域福祉推進に関する具体的な課題の抽出・深掘り
	設置 （２回）			

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業№	321102	担当課室	社会福祉室
事業名	自立相談支援調整会議の開催		
事業概要	関係機関のネットワークを構築し、生活困窮者に対する自立の支援を図るために必要な情報の交換を行うとともに、生活困窮者が地域において日常生活及び社会生活を営むのに必要な支援体制に関する検討を行う会議の開催。		
R6の取組内容	生活困窮者自立支援業務の受託者であるNPO法人socialmateが主となり、ハローワーク、社会福祉協議会、精神科医療機関（銚子こころクリニック）、市社会福祉課（生活困窮者自立支援担当・生活保護担当）で構成する「自立支援調整会議」を１２回開催した。		
評価内容	評価指標	自立相談支援調整会議の開催回数	
	R5	評価	評価理由
	12回	A	関係機関のネットワークを構築し、月１回ペースで定期的に会議を開催している。
	R6		今後の課題
	12回		必要な場合、さらに広い分野の関係機関との連携を検討する。

事業№	321103	担当課室	障害支援室
事業名	銚子市地域自立支援協議会の運営		
事業概要	関係機関等が相互の連絡を図ることにより、地域における障害者等への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関等の連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行う「銚子市地域自立支援協議会」の運営。		
R6の取組内容	地域自立支援協議会（本会）２回（６月、３月） 地域生活支援部会１回、就労部会１回、療育部会１回　（それぞれ１月に実施）		
評価内容	評価指標	銚子市地域自立支援協議会の開催回数	
	R5	評価	評価理由
	3回	B	年２回の本会の実施と、各専門部会をそれぞれ１回ずつ実施
	R6		今後の課題
	5回		協議会会議における障害者支援体制などに関する課題の抽出・深掘り。専門部会にて各分野ごとの課題や支援の充実体制の検討を進める

事業№	321201	担当課室	高齢者福祉課
事業名	地域包括ケアシステム推進会議（地域ケア推進会議）の開催		
事業概要	地域包括ケアシステムを構築するため、保健、医療、福祉等の関係者が連携し、地域の課題についての情報交換や話合いなどを行う「地域ケア推進会議」を開催する。		
R6の取組内容	介護保険事業等運営協議会、健康づくり・地域支え合い推進会議、医療介護専門部会、認知症を考える会など地域包括ケア推進を目的に各種会議を開催した。		
評価内容	評価指標	地域包括ケアシステム推進会議（地域ケア推進会議）の開催回数	
	R5	評価	評価理由
	14回	A	年間計画に従い、開催することができた。なお、開催回数の減少は、効果的な検討をするため、専門部会を一部統合して実施したため。
	R6		今後の課題
	12回		専門部会で検討した内容は、必要に応じて介護保険事業等運営協議会に提言していく。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業№	321301	担当課室	総務室
事業名	町内青年館整備費補助金交付事業		
事業概要	町内青年館の修繕等に対して補助金を支出する。		
R6の取組内容	垣根町青年館の修繕事業に対して補助金を支出した。		
評価内容	評価指標	町内青年館整備費補助金交付件数	
	R5	評価	
	1件	B	評価理由：予算上想定した事業に対して補助を行った。
	R6		今後の課題：昨今の建築単価等の上昇に応じて増額を検討する必要がある。
	1件		

事業№	321302	担当課室	総務室
事業名	まちづくりサポートルーム事業		
事業概要	市民活動団体が集会等を行うためのまちづくりサポートルームの貸出・維持管理を行う。		
R6の取組内容	引き続きサポートルームの貸出しを行った。		
評価内容	評価指標	まちづくりサポートルーム貸出団体数・貸出回数	
	R5	評価	
	3団体・165回	B	評価理由：団体数、回数共に減少した。
	R6		今後の課題：周知方法等について検討が必要と思われる。
	2団体・106回		

事業№	321303	担当課室	市民センター
事業名	公民館施設の貸出		
事業概要	児童から青年、成人、高齢者に至るまですべての年齢の人が、学習や研修、スポーツや趣味に興じたり、楽しむ機会を提供されることが出来る生涯学習のための施設である公民館としての責務を果たし、市民のために生涯学習の機会と場所を提供する。		
R6の取組内容	生涯学習の場としての提供はもちろん、公民館が地域の実情に合わせて柔軟に運営されるよう、民間企業等による公民館活用を進めた。		
評価内容	評価指標	公民館施設の貸出回数	
	R5	評価	
	1,791回	A	評価理由：貸出回数が増加した。
	R6		今後の課題：新年度、市民センターは大規模改修工事を予定しているため、貸出制限を設ける予定。
	3,396回		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業№	331101	担当課室	高齢者福祉課
事業名	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
事業概要	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、利用者一人ひとりについて、様々な職種が連携し、個々の高齢者の状況やその変化に応じて継続的に支援していく。		
R6の取組内容	ケアマネジャーが中心となり、サービス事業者を含む支援チーム全体で包括的継続的なケアマネジメントが実践できるよう、「環境面を整備する支援」と「介護支援専門員等に対する個別支援」の二つの面から支援を行った。自立支援・重度化防止の研修会も開催した。		
評価内容	評価指標	包括的・継続的ケアマネジメント対応件数	
	R5	評価	評価理由
	1,007件	A	地域包括支援センターで個別支援を実施。環境整備として地域ケア実務者会議を開催し、スキルアップと関係機関との連携強化を実施できた。
	R6		今後の課題
	898件		引き続き、環境整備と個別支援の双方を実施していく。

事業№	332101	担当課室	社会福祉室
事業名	第三者委員制度の周知		
事業概要	社会福祉事業経営者における利用者からの苦情解決の仕組みの一つとして、事業所との関係が第三者的な立場にある苦情受付担当を配置する「第三者委員」制度を周知する。		
R6の取組内容	社会福祉法人に対する法人監査の際に制度の周知を行った。		
評価内容	評価指標	第三者委員制度の周知の有無	
	R5	評価	評価理由
	無	B	令和６年度に法人監査を実施した社会福祉法人への制度周知が進んだ。
	R6		今後の課題
	有		引き続き社会福祉法人監査の実地検査の際に、制度周知を行うほか、周知方法を検討する。

事業№	332102	担当課室	子育て支援課
事業名	福祉サービスに対する苦情の解決制度の実施		
事業概要	公立保育所における、利用者等の苦情に対し適切な対応を図り、利用者の利益保護及び信頼の確保を図る。		
R6の取組内容	苦情等はあったものの、福祉サービス苦情解決第三者委員への報告を希望する案件は無かった。		
評価内容	評価指標	福祉サービスに対する苦情申出件数	
	R5	評価	評価理由
	13件	A	各保育所において、苦情に対する対応ができた。
	R6		今後の課題
	9件		引き続き、円滑な制度の運用を図る。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業No.	332103	担当課室	高齢者福祉課
事業名	地域包括ケアシステム推進会議での業務評価・業務点検		
事業概要	地域包括ケアシステム推進会議において委託型地域包括支援センターなどの業務評価・業務点検を行う。		
R6の取組内容	2月開催の地域包括ケアシステム推進会議にて、委託型地域包括支援センターの業務評価・点検結果を報告した。なお、R６年度は書面開催であったため、後日、意見を頂いた。		
評価内容	評価指標	地域包括ケアシステム推進会議での業務評価・業務点検の実施の有無	
	R5	評価	評価理由
	有	A	各委託型地域包括支援センターで業務チェックシートのチェック項目について自己評価を行い、それについて行政評価を実施した。新たに、活動回数や事業実施量を新たに追加し、評価を実施。
	R6		今後の課題
	有		業務点検を通じ、委託型地域包括支援センター業務が一部に偏ることなく、バランスよく機能し、効果的、効率的な運営となるよう努める。

事業No.	332201	担当課室	社会福祉室
事業名	生活保護のしおりの配布		
事業概要	生活保護制度の周知のため、制度概要を記載した「生活保護のしおり」を配布する。		
R6の取組内容	生活保護相談者や申請者へ「生活保護のしおり」を配布するとともに、「しおり」により生活保護制度を説明した。なお、「しおり」は市ホームページからダウンロードできる。		
評価内容	評価指標	生活保護のしおりの配布の有無	
	R5	評価	評価理由
	有(184件)	A	従前から、生活保護相談者等に「しおり」を配布し、説明している。また、相談記録にも「しおり」の配布や説明の有無も記録している。
	R6		今後の課題
	有(181件)		制度改正に合わせて、随時見直しをする。

事業No.	332202 （411101）（411201）	担当課室	障害支援室
事業名	＜サービスの情報提供＞ 障害者福祉ガイドブック・資源マップの配布【重複】		
事業概要	障害者福祉に関する制度やサービスなどを掲載した「障害者福祉ガイドブック」を作成、配布・市HPに掲載。 障害福祉サービス事業所や相談窓口などの所在地などをまとめた「障害福祉地域資源マップ」を市HPに掲載。		
R6の取組内容	「障害者福祉ガイドブック」の令和６年４月版を作成・配付・市HPへの掲載。 「地域資源マップ」（令和４年４月作成）を市HPに掲載。		
評価内容	評価指標	障害者福祉ガイドブック・資源マップの配布の有無	
	R5	評価	評価理由
	有	B	「障害者福祉ガイドブック」は、主として手帳の新規取得者に対して配付。
	R6		今後の課題
	有		制度改正等に応じた最新情報の反映。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業№	332203	担当課室	高齢者福祉課
事業名	ちょーぴーのやさしさ便利帳の配布		
事業概要	高齢者が元気に安心して生活が送れるように、日常生活での困りごとに役立つ情報を掲載した「ちょーぴーのやさしさ便利帳」を配布する。		
R6の取組内容	第3版を東部、中央、西部地域包括支援センター及び高齢者福祉課で配布した。 便利帳４版の作成に向け、第2層生活支援コーディネーターを中心に掲載事業者の聞き取りを行った。高齢者の活躍できる場の情報（ボランティア活動）を追加した。		
評価内容	評価指標	ちょーぴーのやさしさ便利帳の配布部数	
	R5	評価	
	2,865部	A	評価理由：各施設に配置し、住民に配布できた。第3版は4,500部作成し、2年間合わせて4,400部配布することができた。
	R6		今後の課題：便利帳第４版の周知。
	1,542部		

事業№	332301	担当課室	秘書広報室
事業名	点字版広報紙の作成配布		
事業概要	広報ちょうしの点訳		
R6の取組内容	千葉県視覚障害者福祉協会に業務委託し点字版広報ちょうしを作成、配布している。		
評価内容	評価指標	点字版広報紙の配布件数	
	R5	評価	
	11件／月	A	評価理由：希望があった視覚障害者に確実に配布している。
	R6		今後の課題：「点字版広報ちょうし」とともに「声の広報ちょうし（CD）」も併用し活用していく。
	10件／月		

事業№	332302	担当課室	秘書広報室
事業名	市ホームページの機能追加（音声読上げ・文字拡大・配色調整）		
事業概要	ホームページの機能を追加し、誰もが使いやすいホームページを心掛ける。		
R6の取組内容	令和5年度のホームページリニューアルに伴い音声読上げ・文字拡大・配色調整やスマートフォン対応を実施済み		
評価内容	評価指標	市ホームページの機能追加の有無	
	R5	評価	
	有	A	評価理由：利用者の利便性が高いホームページを、継続して運用、維持管理している。
	R6		今後の課題：利便性向上が図れる新しいホームページ機能など情報収集し研究していく。
	有		